

工事実施計画の記載事項の変更箇所

全国新幹線鉄道整備法施行規則第2条第1項の工事実施計画の記載事項のうち変更するものは、次のとおり。

3. 線路の位置 添附図面のとおり

7. 工事方法

カ. き電線、送電線及び配電線（低圧のものを除く。）の架設方式、種類及び太さ

種別	架設方式	種類	太さ
き電線	地上式 または 地中式	特別高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル)	600～800mm ²
送電線	地上式 または 地中式	特別高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル)	100～400mm ²
配電線 (低圧のものを 除く。)	地上式 または 地中式	特別高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル) または 高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル)	22～400mm ²

ヨ. 発電所及び変電所の概要

き電用変電所

新 設	14箇所	
受 電	154kV 2回線	10箇所
	66kV 2回線、33kV 1回線	1箇所
	77kV 2回線、33kV 1回線	1箇所
	154kV 3回線	1箇所
	154kV 2回線、77kV 1回線	1箇所
変 圧 器	主変圧器（最大200MVA） 2組	10箇所
	き電用変圧器（最大80MVA） 3組	2箇所
	主変圧器（最大60MVA） 4組	2箇所

指令所より遠方監視制御を行う。

8. 工事予算 別紙のとおり

9. 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定	認可の日
完了予定	令和9年以降

別 紙
第1号様式

中央新幹線品川・名古屋間（延長 285km605m）工事費予算書

項 目	金 額	備 考
	千円	
用 地 費	363,010,000	
路 盤 費	163,916,000	
橋 梁 費	665,600,000	
隧 道 費	2,138,481,000	
軌 道 費	813,470,000	
停 車 場 費	1,054,068,000	
車庫・検査修繕施設費	159,200,000	
諸 建 物 費	5,190,000	
電灯・電力線路費	392,400,000	
通 信 線 路 費	67,900,000	
運 転 保 安 設 備 費	69,300,000	
防 護 設 備 費	3,780,000	
連 絡 設 備 費	—————	
電 車 線 路 費	171,460,000	
発 電 所 ・ 変 電 所 費	435,430,000	
小 計	6,503,205,000	
工 事 用 建 物 費	340,000	
工 事 用 機 械 費	17,700,000	
工 事 附 帯 費	192,115,000	
小 計	210,155,000	
計	6,713,360,000	
車 両 費	334,880,000	
合 計	7,048,240,000	
1 km 当たりの工事費 (車両費を除く。)	23,510,000	

※ 消費税は含まない。